

株式会社リアルワールド

～ 五感でクリエイティビティを刺激するオフィス ～



【プロジェクト概要】

- ・内容: オフィス移転
- ・期間: 2010年2月～2010年5月
- ・規模: 180坪
- ・PM: 明豊ファシリティワークス株式会社
- ・設計: 明豊ファシリティワークス株式会社

会員数約300万人を誇るPCポイントサービス「Gendama」を始め、クラウドソーシングサービス「CROWD(クラウド)」などの各サービスを統合するSNSサイト「REALWORLD」を展開する株式会社リアルワールド。今回、社員の仕事環境の充実と、将来の企業拡大に備えて移転した、代官山の新オフィスへ取材に伺った。(「オフィスの広場」事務局)

プロジェクト発足の背景

- ・オフィスの閉鎖的な雰囲気への不満
- ・人員拡大によるスペースの不足

事業の拡大と共に社員が増え、物理的にスペースが不足していたため、今回拡大移転をおこなった。

また、それよりも移転の大きな理由となっているのは、オフィスの閉鎖感である。

以前のオフィスは、壁のカラーもグレーで、窓も少なく閉鎖的な印象でした。しかし、クリエイターの割合が高い同社では、もっと開放的で、クリエイティビティを刺激するオフィスが適切だと考え、今回の移転に至った。

プロジェクトのコンセプト

- ・透明感
- ・クリエイティビティを刺激

今回のプロジェクトでは、上記のコンセプトを掲げ、これまでとは180℃雰囲気の異なるオフィスづくりを試みた。

オフィスに透明感を持たせることで、だれがどこで何をしているのかすぐに分かるようにして、コミュニケーションの活発化を図っている。

また、社員のクリエイティブな発想を促すため、五感を刺激するような仕掛けも盛り込んだ。

プロジェクトのポイント

●移転先は「代官山」

創業以来5年間渋谷を拠点に活動していましたが、今回の移転ではゼロベースで都内全域の物件を数多く見て回った。

その中でも、特別眺望の良かった現在のビルが今回のオフィスコンセプトに最も合うと考え、移転を決めた。



●オフィスの全てを見せる“透明化”

今回の設計では、ワークスペースの間仕切りは設けず、また、各会議室の壁も全てガラス張りにすることで、社員に限らずお客様もオフィス全体が見渡せるオープンな空間に仕上げた。

それにより、社外の方にも視覚的に同社の雰囲気を感じてもらえるのでは、という狙いがある。

●クリエイティビティを刺激する仕掛けづくり

脳に刺激を与える意図から、床や壁の仕様も煉瓦から、木材、カーペット等々様々な素材を併用したり、デスクは敢えて直線的な形状を避け、動線を複雑にした。また、リフレッシュスペースもビルの景観を最大限活かせる窓際的位置を選んだ。



各会議室



エントランスでは、社員の働く姿が一望できる視界の開放感を確保すると共に、床や壁に様々な素材を組み合わせることで、デザインに変化を出している。

また、エントランスに限り、天井をスケルトンにして高さを出し、圧迫感を与えないつくりをしている。



“透明感”をコンセプトにしたオフィスの中で唯一閉鎖感を持たせた和室空間。通常の会議だけでなく、社員に対するサプライズ企画の打ち合わせ等に使用している。



会議室についても視界を遮らないように間仕切りはガラスとし、オフィスに一体感を持たせている。

一方で、会議室ごとにテーマを設定し、床の仕様やインテリアを変更することで、それぞれが個性のある部屋に仕上げた。



ワークスペースでは、部署ごとに島を構成しているものの、その間をつなぐように円テーブルを配置し、振り返れば部署間のコミュニケーションも簡単に取れるようにしている。

また、誕生日の人や新入社者のデスクには、メッセージが書かれた風船を飾り、コミュニケーションの活発化を促している。



●所在地
東京都渋谷区猿楽町10-1 マンサード代官山8F

●設立
2005年7月29日

●事業内容
PCポイントサービス「Gendama」、クラウドソーシングサービス「CROWD」、国内初のポイント交換サービス「PointExchange」など、各サービスを統合するSNSサイト「REALWORLD」を基軸に様々なネットサービスを展開。

ご担当者の声

株式会社リアルワールド
社長室 秘書・広報
北井 葉子 様



渋谷から現在の代官山オフィスに移転して丸1年が経ちました。

今回の移転の大きな目的は「次のステージに進む」こと。

業務拡大・増員に伴うスペースの確保はもちろん、以前のオフィスで不便だった点は徹底的に改善し、作業効率の上がる快適なオフィス作りにこだわりました。

景観の良さを生かし、社内においても季節や時間の流れを感じられるよう窓側にリフレッシュスペースを配置し、眺望を遮るものがないよう壁面はすべてガラス、コミュニケーションの取りやすい設備作りや、札幌支社とのTV会議システムも増設しました。

プロジェクトは立ち上がりから竣工まで約3ヶ月、約10社のコンペを行い、設計からプロジェクトマネジメントすべてを明豊ファミリーワークス様にお願いしました。

明豊FW様には限られた予算の中、デザイン性と高いクオリティー、多くの要望を叶えていただき大変感謝いたしております。

現在では、移転当初30名弱だった社員が2倍以上に増え、執務エリアは社員の活気であふれています。さらなるステップアップに、次の移転や新たに支社を開設する日も近いかもしれません。